

令和2年度 研究成果発表会



昨年度一定の成果を上げて終了した「研究会」「共同研究プロジェクト」について、研究代表者が成果を発表します

日時

令和2年

10月29日 木

13時00分～16時20分

受講

オンライン (Zoomウェビナー)

先着 200名 (無料)

申込

福岡県リサイクル総合研究事業化センターホームページ

<https://www.recycle-ken.or.jp/>

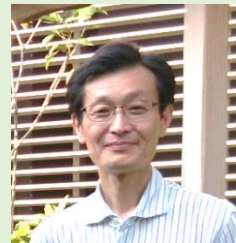
よりお申込みください。

オンライン参加方法の詳細は、申込みフォームで登録いただいたメールアドレスに事務局より別途ご連絡いたします。

特別
講演プラスチックマテリアルリサイクルの
高度化と拡大を目指して

廃プラスチックの高度マテリアルリサイクルの現状や今後の展望についてご講演いただきます。

学校法人 福岡大学 工学部化学システム工学科 教授 八尾 滋 氏



13:00 開会

13:00～13:10 主催者挨拶

特別講演

13:10～14:10

❖ 「プラスチックマテリアルリサイクルの高度化と拡大を目指して」

学校法人 福岡大学 工学部 化学システム工学科

教授 八尾 滋 氏

福岡県リサイクル総合研究事業化センター支援制度の紹介

14:10～14:20

研究会成果発表

14:20～14:50

❖ 「アルミラミネート箔における AI to AI リサイクル研究会」

サンコーアルミ株式会社

アルミ箔はその多くがリサイクルされず廃棄物として処分されています。処理困難とされてきた各種アルミ製品のリサイクル事業化を図り、アルミリサイクル技術（アルミ溶融技術）の業界標準を目指しました。

❖ 「パワーデバイス用硬脆ウエハリサイクル研究会」

株式会社新菱

シリコンに比べ耐熱性、高耐圧、高電子移動速度等の性能を持つ硬脆ウエハのリサイクルのための薄表研磨技術開発を行いました。

〈休憩 10分〉

共同研究プロジェクト成果発表

15:00～16:15

❖ 「絶縁油再生処理事業化共同研究プロジェクト」

株式会社キューヘン

使用済絶縁油を再生処理により再度絶縁油として利用するため、低負荷・低コストの再生技術について検討を行いました。

❖ 「フードバンクを活用した食品ロス削減推進共同研究プロジェクト」

NPO法人フードバンク北九州
ライフアゲイン

フードバンクの基盤強化を図るとともに、福岡県で発生している食品ロスを県内全域で安定的・継続的に活用するための社会システムの実用化を目指しました。

❖ 「金属産廃を放熱性素材として有効活用した循環型社会を実現するプロジェクト」 株式会社明菱

鉄系金属の切削加工時に産廃として排出される金属スラッジから抽出される金属微粒子に酸化還元などの処理を行い、樹脂と混ぜ合わせることで、新たな機能性を付与する開発を行いました。

16:20 閉会

申込締切

令和2年10月20日(火)

会場：オンライン(Zoom)開催のため会場はありません

〈お問合せ〉 公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究事業化センター

北九州市若松区ひびきの2番1号 産学連携センタービル4F

(申込URL) <https://www.recycle-ken.or.jp>

☎ 093-695-3068

FAX093-695-3066

E-mail: seika@recycle-ken.or.jp